

果樹病虫害発生予察調査結果（7／25調査分）  
（三条、加茂、田上地域）

7月25日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

**（共通）**

- 梅雨明けし、暑い日が続いており、多くの地点でハダニ類の発生が確認されています。寄生状況を観察し発生初期の防除に留意しましょう。
- ナシヒメシンクイの誘殺数は減少しましたが、モモ新梢の芯折れも確認されており、今後誘殺数が増加すると考えられます。また、7月下旬から8月上旬が第3世代幼虫の重点防除期となります。周辺園地の収穫期に近い品種に注意しながら防除を実施しましょう。
- 今回調査ではカイガラムシ類による被害は確認されませんでした。発生が多い場合は被害部位の摘み取りや、枝をブラシでこする等の対応を行ってください。

**（ナシ）**

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- セイヨウナシ褐色斑点病は、新梢先端部を中心に発生が増加傾向にあります。「ほうき枝」となる勢いのある徒長枝は適宜せん除しましょう。
- 一部で、アブラムシ類やニセナシサビダニの発生が確認されています。発生が多い場合は、被害部位の摘み取りや薬剤散布を実施しましょう。
- 黒星病の発生は一部に留まっているものの、果実肥大後期には果実感染しやすくなることから、り病部位の除去で感染拡大を防ぎましょう。

## (モ モ)

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- 多くの地点でせん孔細菌病り病葉の発生が確認され、果実発病も一部で確認されています。引き続き防風対策や夏型枝病斑の除去を実施しましょう。
- 一部で、灰星病り病果の発生が確認されています。収穫前日数に注意しながらJAの「桃 収穫・管理日程表」を参考に防除を実施するとともに、り病果は速やかに除去しましょう。

## (ブドウ)

調査地点ごとに100葉を調査しました。

今回調査では病虫害の発生は確認されなかったものの、べと病・褐斑病・灰色かび病等が発生しやすい時期であることから、通風の改善や適期防除に留意しましょう。

※今後も暑い日が続くので作業中の熱中症にも注意し、十分な水分補給等を行ってください。

◇ 次回調査は8月10日(木)です。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020